

海外渡航時の感染対策について

海外では、気候や風習、衛生状況の違いにより日本国内では流行のない感染症に感染することがあるため、あらかじめ予防策について情報を収集し、予防策を講じておきましょう。

海外渡航のための予防接種

海外渡航の予防接種には、主に2つの側面があります。1つは入国するために必要なものです（接種証明が必要なもの）。もう1つは、海外で感染症から体を守るためのものです。

○予防接種の例

黄熱	感染リスクのある地域（西アフリカ・中央アフリカ・東アフリカ・中南米）に渡航する人
A型肝炎	流行地域（アジア・アフリカ・中南米）に渡航する人
ポリオ	流行地域（中東・北米・アフリカ）に渡航する人
狂犬病	動物と接触する人。狂犬病の流行地域（アジア・アフリカ・中南米）に渡航する人

○予防接種を希望する場合

複数回接種が必要なものもありますので、期間的な余裕をもって医療機関に相談しましょう。また、予防接種の種類によって、近隣の医療機関では対応できないものもあります。「トラベルクリニック」標榜の医療機関や検疫所で相談しましょう。

関西空港検疫所	電話（072）455－1283
大阪検疫所	電話（06）6571－3522
神戸検疫所	電話（078）672－9651

渡航中に感染症にかからないための注意点

1 食べ物・水にご注意を

胃腸炎の予防のために、生水、氷、サラダ等を含め、生ものは避け、しっかり加熱された食べ物を食べましょう。食事の前には石けんで手を洗いましょう。

2 虫にご注意を

蚊・ダニ・ノミ等の虫に刺されたり、咬まれたりすることにより感染症に罹患することがあります。長袖、長ズボン等で肌の露出を避け、虫除けスプレー等を効果的に使用しましょう。

3 動物にご注意を

イヌ、コウモリ、キツネ、アライグマ、マングース等の動物は、狂犬病ウイルスを持っていることがあります。

むやみに動物とは接触せず、触れ合った後は石けんで十分に手を洗いましょう。

イヌ等の動物に咬まれた場合は、すぐに傷口を石けんと流水でよく洗い、できるだけ早く現地の医療機関を受診し、傷口の消毒を行い、狂犬病ワクチンの接種の必要性について相談しましょう。

4 体調が悪い場合は

発熱、下痢等、体調が悪い場合は、自己判断せずに医療機関を受診しましょう。帰国時に体調が悪い場合は、必ず検疫所でご相談ください。